

三八上北の国有林



うぐいす（七戸町北天間館国有林）



日本の緑・国有林

林野庁・東北森林管理局

三八上北森林管理署

三八上北森林管理署では、次のような取り組みを行っております。

1 東日本大震災からの復興への貢献

○海岸防災林の再生のため造成事業を進めています。

場 所：青森県三沢市 浜通り国有林155林班（右図参照）

事業概要：

平成30年度		令和元年度		令和2年度	
工種別	面積等	工種別	面積等	工種別	面積等
静砂工	2.8ha	静砂工	2.5ha	植栽工	2.5ha
植栽工	3.9ha	植栽工	2.7ha		

※平成30年度・令和元年度は実績、令和2年度は予定である。
 ※工種は、契約単位代表工種で集計、単位以下四捨五入。



平成24年度完成した植栽工(R2.3撮影)



H30年度完成した植栽工（R2.3撮影）



R元年度完成した静砂工(R2.3撮影)

2 公益重視の管理経営の一層の推進

○間伐等の森林の適切な整備により、地球温暖化防止対策に資するとともに将来にわたって森林の二酸化炭素吸収作業を確保するため主伐後の再造林を適切に行います。

○地域の小学校などと連携した森林環境教育の実施、青森県生協連などと協定を締結した「ふれあいの森」、「遊々の森」において国民参加の森づくりを実施しています。



3 林業の成長産業化の実現

○地方創生に向けた地域への支援

様々な機会を捉え、地域の皆さまのご意見・ご要望を伺い、森林・林業を活用した地域振興に協力していくこととしています。

○木材の安定供給の推進

素材を計画的に生産するとともに、安定供給システム販売や混合契約を実施し、木材の安定的な供給に努めています。

○低コスト化の推進

伐採から造林までを一つの請負契約で行う一貫作業システムや列状間伐、下刈回数の見直しなど、林業の低コスト化を推進しています。

生産量		
年度	実行数量	備考
H30	48,766m ³	実績
R1	52,558m ³	〃
R2	52,000m ³	予定

※R2.4.1当初予定



採材検討会



森林計画策定に向けて開いた「住民懇談会」

1 国有林の現況

さんばちかみきた

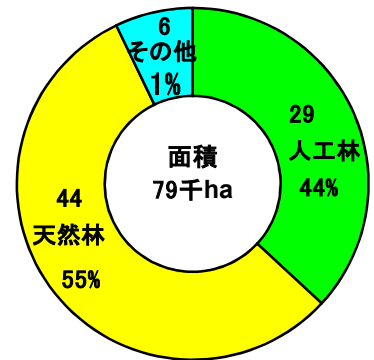
三八上北森林管理署は、青森県の南東部にあり、下北半島の付け根から八甲田山と十和田湖の東側を経て、岩手県境に至る、3市11町2村（三八上北森林計画区）の国有林、約79,000haを管理しています。

森林は、太平洋岸にある低山帯の防風林から、八甲田山系・高田大岳（1,552m）などの高山帯におよび、スギやアカマツの人工林の比率が4割、ブナやヒバを主体とする天然林が6割を占めています。

<管内の市町村>

十和田湖と奥入瀬溪流の「**十和田市**」のほか、「**八戸市**」、「**三沢市**」、上北郡には、菜の花で地域活性を図る「**横浜町**」、交通の要衝「**野辺地町**」、東北新幹線の駅がある「**七戸町**」、風力発電などの「**六ヶ所村**」、ナガイモの「**東北町**」のほか、「**六戸町**」、「**おいらせ町**」、三戸郡には、ニンニクの「**田子町**」のほか、「**三戸町**」、「**新郷村**」、「**五戸町**」、「**南部町**」、「**階上町**」があります。

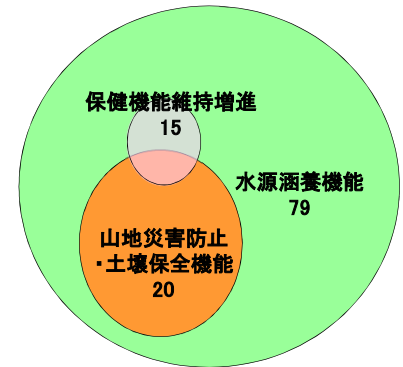
人工林・天然林別の面積(千ha)



2 森林の取扱い

国有林では森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止/土壌保全」「快適環境形成」「保健」の4つの機能に分け、それぞれに適応した森林の管理・経営を行っています。

公益的機能別施業森林の内訳(千ha)



水源涵養機能

草や木の根により、水を蓄える隙間に富んだ土壌を有する森林

<水源林>

地域住民の生活用水や農業用水を供給する「水源林」としての役割はたいへん重要です。奥入瀬川流域の森林を水源としている稲生川（人工河川）は、今から約150年前に、三本木原（十和田市）の開拓のため、南部盛岡藩士・新渡戸傳（つとむ）（稲造の祖父）から3代で開削したもので、現在約6千haの田畑を潤しています。

山地災害防止/土壌保全機能

森林の中に適度な光が射し込み、草や木の根が深く広がって土壌を保持する森林。必要により山地災害を防止する施設を整備

<治山事業>

この地域では、八甲田山など火山性の地質による泥流・地すべり災害、山間部での集中豪雨による土砂災害の危険があることから、地域住民の安全確保のための治山工事や森林整備を行っています。



奥入瀬川の源流（十和田市）



荒地に設置した谷止工（十和田市）



左又沢治山工事(鉄筋挿入工併用法砕工,植生基材吹付工) (十和田市)

保健・快適環境形成機能

〔自然とのふれあいの場として利用したり、自然景観や歴史的風致、原生的な森林生態系、希少な生物がいる森林〕

八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流に代表される十和田八幡平国立公園、山岳・湖沼など豊かな自然を背景とした観光資源に恵まれており、四季を通じて大勢の皆さんが訪れます。

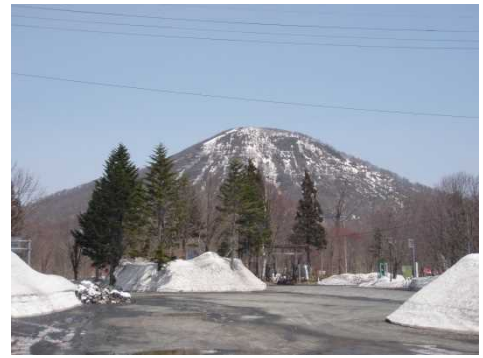
<レクリエーションの森>

国有林では優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。

まよがたい
迷ヶ平自然休養林（407ha新郷村・三戸町）のほか、野外スポーツ地域として野辺地スキー場（46ha野辺地町）があり、地元市町村、事業者等により様々な施設が整備されています。



野辺地スキー場野外スポーツ地域（野辺地町）



迷ヶ平自然休養林（新郷村・十和田山）



幌内山国有林のブナは樹高29m
幹周りが6.01mあります。（十和田市）

<森林ボランティア>

国民参加の森林づくりの場として「ふれあいの森」（3.48ha）「社会貢献の森」（3.90ha）を設定し、様々な団体、企業の社会貢献等による森林ボランティアを受け入れています。



青森県生活協同組合連合会

「ふれあいの森」



おいらせ知の会

<森林環境教育>

三本木高校附属中学校による「遊々の森」（5.75ha）や、法奥小学校での森林教室など、森林を活用した教育を支援しています。



法奥小6年生 有限会社岩木建設で
「カナナかけ体験」



法奥小3年生森林教室
（カツラの葉は甘いにおい）



附属中学校遊々の森「夢と生命の森」

＜貴重な生態系の維持＞

生物多様性の維持も国有林の重要な仕事です。

原生的な自然環境の保全や貴重な野生動植物を保護するため、「八甲田山生物群集保護林」（3,823ha）に指定しています。

また、野生動植物の移動経路などを確保するため、奥羽山脈から白神山地へ至る70km、7,508haを「奥羽山脈緑の回廊」と「白神八甲田緑の回廊」に指定しています。

緑の回廊位置図



3 森林・林業の再生への取り組み

民有林と連携した事業の効率化、路網整備の整備、木材の協調出荷等による低コスト化を実現するための森林整備推進協定に基づいた森林共同施業団地の取り組み、コンテナ苗を使用した伐採から地拵、植付までを実行する一貫作業システム、立木販売の売買契約と伐採後の造林事業の請負契約をセットで行う混合契約等を推進して、森林・林業の再生に貢献していくこととしています。



4 国有林の活用

国有林野を活用して、風力発電所（六ヶ所村）や送電幹線（東北電力）などが建設されています。



令和2年度主要事業量（当初）

立木販売・保育間伐ほか			製品生産資材			計		
主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	主伐	間伐	計
187,824	0	187,824	13,621	96,210	109,831	201,445	96,210	297,655

製品（丸太）販売量（m ³ ）				造林量（ha）				
委託販売	システム販売	計	（当年度生産量）	新植	下刈	除伐	除伐Ⅱ類	本数調整伐
15,000	37,000	52,000	(52,000)	164	354	132	76	0

担当森林事務所と管内市町村の国有林野面積(ha)

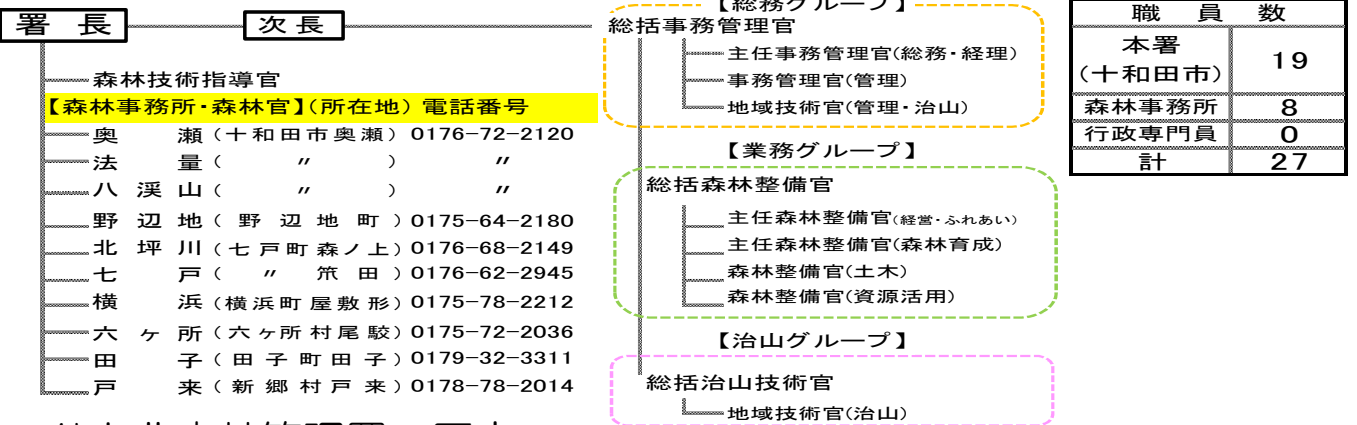
森林事務所	担当区	市町村名	国有林野	官行造林地
			面積	面積
奥瀬	奥瀬	十和田市	5,110	312
		三沢市	266	
法量	法量	十和田市	7,963	88
八溪山	八溪山	十和田市	7,590	
		十和田	7,167	
田子	田子	田子町	7,339	168
		田子町	2,337	283
戸来	猿辺	三戸町	1,541	23
		南部町		73
		階上町		95
		新郷村	2,927	333
野辺地	野辺地	東北町	2,619	
		野辺地町	1,986	
	横沢	東北町	2,344	
北坪川	北坪川	野辺地町	9	
		東北町	74	
七戸	七戸	七戸町	6,747	
		東北町	1,094	
六ヶ所	六ヶ所	七戸町	8,092	145
		六ヶ所村	5,762	
横浜	横浜	六ヶ所村	2,988	
		横浜町	5,160	
計			79,115	1,520

市町村別面積再掲(ha)

市町村名	国有林野	官行造林地
	面積	面積
十和田市	27,830	400
三沢市	266	0
田子町	9,675	451
三戸町	1,541	23
南部町	0	73
階上町	0	95
新郷村	2,927	333
東北町	6,131	0
野辺地町	1,995	0
七戸町	14,839	145
六ヶ所村	8,750	0
横浜町	5,160	0
計	79,115	1,520

※令和2年3月樹立
「第6次国有林野施業実施計画書」参照

組織 (令和2年4月1日現在)



三八上北森林管理署の歴史

- 明治14 (1881) 年 農商務省山林局設置
- 19 (1886) 年 青森大林区署五戸派出所として開庁、明治25 (1892) 年 奥瀬小林区署と改称
- 40 (1907) 年 法量小林区署、五戸小林区署と合併し、三本木小林区署と改称
- 大正 3 (1914) 年 現在地に庁舎建造
- 13 (1924) 年 官制が改められ青森営林局三本木営林署と改称
- 平成11 (1999) 年3月1日 組織再編により三八上北森林管理署と改称し、野辺地営林署を野辺地事務所に、三戸営林署を三戸事務所に改組
- 13 (2001) 年8月1日 組織の再編により野辺地事務所及び横浜森林管理センターの一部を統合し、三八上北森林管理署及び三戸事務所に再編
- 16 (2004) 年3月31日 組織再編により三戸事務所を統合
- 19 (2007) 年2月 庁舎建て替え

三八上北森林管理署管内図





三八上北森林管理署案内図



林野庁
東北森林管理局
三八上北森林管理署

〒034-0082 青森県十和田市西二番町1-27
電話 0176-23-3551 FAX 0176-24-2020
メール: t_sanpachi@maff.go.jp
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanpati/>